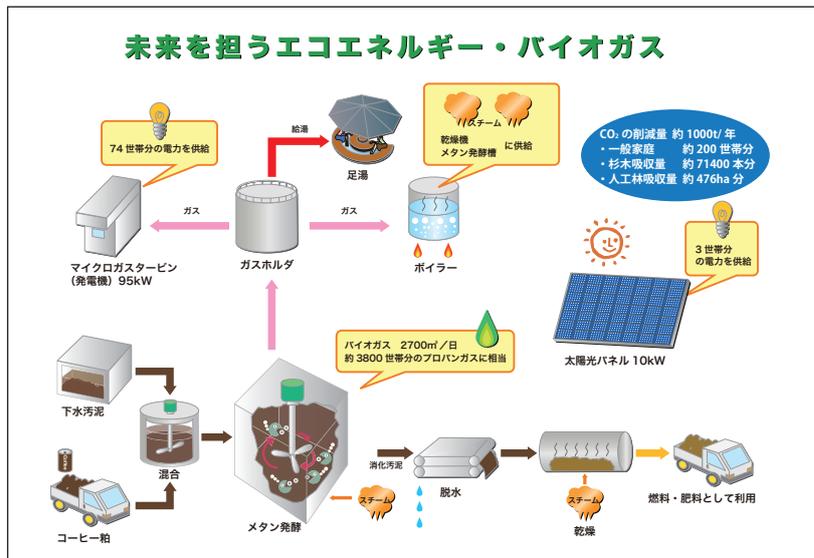


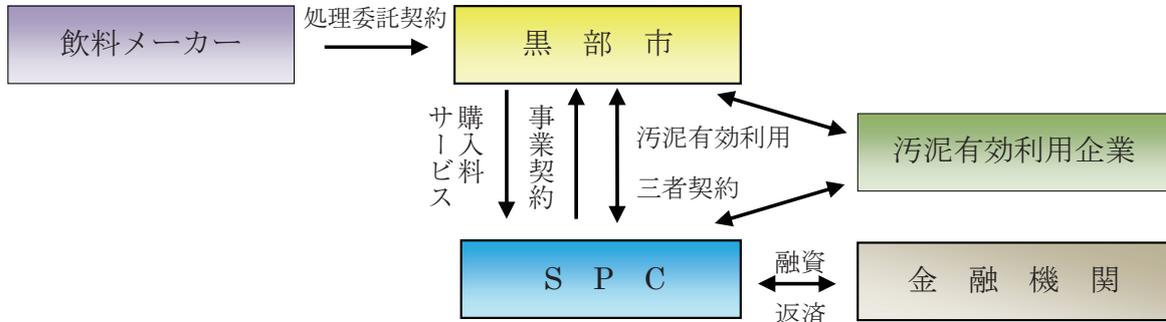
サステイナブル活動部門

PFI事業による下水汚泥のバイオマスエネルギー利活用

富山県 黒部市



事業フローの概略図



<バイオマス施設全景>



<足湯>



この施設は、下水汚泥、農業集落排水汚泥、浄化槽汚泥、デスポーザー由来生ごみと食品残渣（コーヒー粕）を混合処理する施設で、民間事業者の資金、経営能力及び技術力を活用した「PFI事業」により平成23年5月に竣工、稼働を開始しました。取り出したバイオガスは、汚泥の乾燥やマイクロガスタービンによる発電等で有効利用するほか、乾燥汚泥は電力供給会社等で石炭の代替燃料や花卉の肥料原料として利用しています。また、この施設の稼働によりCO₂を約1000t/年削減でき地球温暖化防止対策としても貢献しています。さらに、バイオガスにより沸かされたお湯は、施設内に整備された「足湯」に供給され多くの市民の憩い場となっており、下水道事業の地域循環型社会形成のPRに大いに役立っています。